

# トルコギキョウ栽培における赤色光の利用

## 第2報 1～3月出し栽培におけるブラスチングの抑制効果

門田太志

Use of Red Lighting on *Eustoma grandiflorum* (Raf.) Shinn. Cultivation  
II. Suppression of Flower-bud Blasting in January-March Shipments

Taishi KADOTA

### 要 約

トルコギキョウの1～3月出し栽培ではブラスチングの発生により切り花品質が低下する。そこで、ブラスチングの発生を抑制することを目的とした電照方法について、光源、電照時間帯、電照時間数、放射照度および品種適応性を検討し、以下の結果を得た。

1. 頂花発蕾から収穫終了まで赤色LED電球を用いて電照した場合、‘クラリスピンク’では午前0時を中心とした6時間および9時間の暗期中断により、ブラスチング小花発生率が減少し、商品花蕾数が増加した。
2. 頂花発蕾から収穫終了まで赤色LED電球を用いて6時間の暗期中断を行った場合、‘クラリスピンク’では放射照度が0.05 W/m<sup>2</sup>以上で商品花蕾数が最も多くなった。
3. 頂花発蕾から収穫終了まで赤色LED電球を用いて6時間の暗期中断を行った場合、5品種中4品種で切り花品質の向上効果があった。
4. 頂花発蕾から収穫終了まで電球色蛍光灯を用いて6時間の暗期中断を行った場合、5品種中3品種で赤色LED電球と同等程度の切り花品質の向上効果があった。

キーワード：トルコギキョウ，電照，赤色光，ブラスチング，商品花蕾数